

～卒業生からの便り～ ④ (第4通目)



第4通目は、別科そして在籍大学卒業後に語学という特技を活かして夢を叶えた先輩からのお便りです。



From Taiwan

宋 郁嫻

2014年春から1年間在籍した中国文化大学の交換留学生。日本語だけでなく英語も得意な宋さんは、語学を活かし、長年の夢だったフライトアテンダントとして就職を果たしました。今は韓国語も勉強中です。今後の活躍から目が離せません！



皆さん、こんにちは！私は宋郁嫻と申します。中国の海南航空会社で乗務員として働いています。私の仕事の内容はファーストクラスとVIPの乗客に、機内で安心でかつ快適に過ごしてもらえよう、乗客一人一人の様子に気を配りながら食事やドリンクを提供することです。また、簡単なカクテルを作ったり、時に子どもや年配者の世話をしたり、乗客からの問い合わせに対応したりします。リクエストをできるだけ応えるように努めています。そして、緊急時に乗客の安全を守るため、迅速で適切な対応をとることも一生懸命練習しています。

別科にはいって、毎日面白い授業を受けたり、色々な国から来た友達をつくったり、そして自分の日本語能力もそれによって上がっていき、これが一番良かったことだと考えています。本当は、日本に行く前には私は聞くことが一番下手でした。日本人と会話している時よく相手の意味が間違えたこともあるので、すごく困っていました。しかし、別科に入って、聞くことは以前よりも上手になって、私にもっと自信をくれました。OIUのお陰で、私がホームステイの村山家で一年すごく幸せな生活を送りました。この一年間は村山家にお世話になっていました。お父さんとお母さんとドライブしたり、お母さんの手作り料理を満喫したり、祭りの時お母さんに浴衣を着せてもらったり、そのお陰で祇園祭に参加できました。七夕の時には、徳島の盆踊り大会も見ました。それだけでなく、学校では箏を弾くことや和服を着ることや陶器を作ることも習いました。そして、春に満開の桜、夏の壮大な祭り、秋の紅葉、冬の大雪、全てかけがえのない思い出になりました。

日本留学が今の仕事で役にたっていることといえば、留学経験者なので、面接する時も流暢に面接官と日本語の会話ができますし、飛行機の中でも自然に日本人のお客様に日本語の対応ができます。お客様の役に立つことがその乗務員生涯の生きがいだと考えています。

先輩の皆さん、OIUでの生活を大切に、色々華やかな日本文化もできる限り体験してください。国に帰ってからこれらが自分だけの忘れられない思い出と経験になるでしょう。勇気出して夢を追いかけていきましょう！頑張ってください。